

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）												病床確保計画（緊急フェーズ）※2																				
	病床確保計画（一般フェーズ）		フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		病床確保計画（緊急フェーズ）	病床確保計画（緊急フェーズ）	緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ												
	病床確保計画（一般フェーズ）	病床確保計画（一般フェーズ）	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準			即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け									
	（概数）	（概数）	うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等		うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等	うち臨時の医療施設等										
27 大阪府 ※5	3,833	39,702	1,980	180	重症：およそ108人以上（フェーズ1の病床数180床の60%） 軽症中等症：およそ720人以上（フェーズ1の病床数1,800病床数の40%）	2,590	240	重症：およそ168人以上（フェーズ2の病床数240床の70%） 軽症中等症：およそ940人以上（フェーズ2の病床数2,350床の40%）	3,020	320	重症：およそ224人以上（フェーズ3の病床数320床の70%） 軽症中等症：およそ1,080人以上（フェーズ3の病床数2,700床の40%）	3,460	410	重症：およそ287人以上（フェーズ4の病床数410床の70%） 軽症中等症：フェーズ5の緊急避難的確保病床を除く3,450床運用要請：およそ1,830人以上（フェーズ4の病床数3,050床の60%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,070人以上（フェーズ5の病床数3,450床の60%）	4,690	590																	
28 兵庫県	1,088	7,897	300	30	新規陽性者1週間平均20人以上または病床利用率10%以上	600	60	新規陽性者1週間平均80人以上または病床利用率20%以上	1,000	100	新規陽性者1週間平均400人以上または病床利用率50%以上	1,200	120	感染状況を踏まえ総合的に判断	1,712	142																	
29 奈良県	227	1,734	0	0	今後の感染状況を踏まえて、決定	314	25	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	566	36							227	1,734	感染者が増え、救急搬送の受入先が見つからないような状況が発生した時	566	36												
30 和歌山県	2,381	16,667	176	16	国内外の状況を総合的に判断	278	17	基準日（週当たり新規感染者数630人/10万人）等、総合的に判断	540	26	基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26				2,381	16,667	基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26												
31 鳥取県	47	325	144	19	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	239	30	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	351	47							47	325	感染状況を総合的に判断して対応	351	47												
32 島根県	45	450	140	5	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	167	10	入院患者総数が50人となった日	223	16	入院患者総数が100人となった日	279	25	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	387	28																	
33 岡山県	307	1,893	133	12	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	199	21	稼働病床が100床を超えたとき	318	33	稼働病床が200床を超えたとき	598	67				307	1,893	稼働病床が200床を超えたとき	598	67												
34 広島県	111	903	329	26	新規感染者が継続的に発生	382	26	直近7日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	468	34	直近7日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	538	42				358	3,091	直近7日間の10万人当たり新規感染者数25人以上	773	52	直近7日間の10万人当たり新規感染者数50人以上	855	54									
35 山口県	206	1,400	136	8	陽性者数の増減状況を総合的に判断	315	12	陽性者数の増減状況を総合的に判断	516	23	陽性者数の増減状況を総合的に判断	680	47				206	1,400	陽性者数の増減状況を総合的に判断	780	47												
36 徳島県	77	605	128	6	入院患者数が20人となった日	152	6	入院患者数が70人となった日	185	16	入院患者数が120人となった日	254	25	入院患者数が180人となった日	286	25																	
37 香川県	111	867	154	17	入院患者がフェーズ1の病床数の3分の1を超える	203	21	入院患者がフェーズ2の病床数の2分の1を超える	273	30							111	867	入院患者がフェーズ3の病床数の2分の1を超える	298	30												
38 愛媛県	90	655	269	5	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（40人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	302	9	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（79人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	392	19							153	1,110	入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の50%（196人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	463	26												
39 高知県	60	500	100	16	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	164	16	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	218	16	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	273	24	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階	365	24																	
40 福岡県	1,253	11,563	371	77	入院患者数100人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療の逼迫、緊急事態措置等の実施状況を踏まえて総合的に判断。	563	99	入院患者数160人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療の逼迫、緊急事態措置等の実施状況を踏まえて総合的に判断。	876	119	入院患者数240人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療の逼迫、緊急事態措置等の実施状況を踏まえて総合的に判断。	1,354	195	入院患者数660人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療の逼迫、緊急事態措置等の実施状況を踏まえて総合的に判断。	2,024	217																	
41 佐賀県	182	1,322	146	3	入院患者数が25人となったとき	224	5	入院患者数が50人となったとき	409	14	入院患者数が90人となったとき	558	40	入院患者数が130人となったとき	578	48																	
42 長崎県	137	983	82	21	即応病床の3分の1以上使用	149	21	即応病床の2分の1以上使用	330	21	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上を使用	496	36				170	1,220	新規感染者数の7日間移動平均が33人を超えたとき	593	40	総合的に判断	721	40									
43 熊本県	300	2,337	612	47	以下のいずれかに該当した場合 ①即応病床利用率が25%を上回る状況が続く場合 ②その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	757	55										300	2,337	即応+準備病床利用率が60%を上回る状況が続く場合	910	66	即応+準備病床+緊急時確保病床利用率が70%を上回る状況が続く場合	1,061	66									
44 大分県	3,025	16,197	286	34	・重症者用病床利用率10%以上・病床利用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	296	34	・重症者用病床利用率20%以上・病床利用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	304	42	・重症者用病床利用率50%以上・病床利用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	552	43				3,025	16,197	・重症者用病床利用率50%以上・病床利用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	552	43												
45 宮崎県	221	1,724	275	13	新規感染者や入院患者の状況を踏まえ、総合的に判断	374	17										221	1,724	新規感染者や入院患者の状況を踏まえ、総合的に判断	433	17												
46 鹿児島県	199	1,679	45	3	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床利用率が30%以上に達した場合	300	6	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床利用率が40%以上に達した場合	411	11	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床利用率が50%以上に達した場合	531	25				251	2,119	フェーズ4の病床利用率が60%以上に達した場合	694	29	緊急フェーズ1の病床利用率が70%以上に達した場合	760	31									
47 沖縄県	262	1,656	107	11	入院患者が10人を超えたとき	158	18	入院患者が23人を超えたとき	256	26	入院患者が150人を超えたとき	456	34	入院患者が200人を超えたとき	606	40																	
全国計 ※3	34,931	280,645	病床確保計画（一般フェーズ）	移行基準	確保病床（計画）数 （うち臨時の医療施設等）	45,617	移行基準	確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	1,170	移行基準	確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	4,059	移行基準	確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	0	移行基準	病床確保計画（緊急フェーズ）	45,071	359,159	最大確保病床（計画）数 （うち臨時の医療施設等）	50,171	移行基準	最大確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	1,976	移行基準	最大確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	4,236	移行基準	最大確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	25	移行基準	最大確保病床（計画）数 （うち重症者向け）	0

※1 茨城県は病床確保計画の最終フェーズを「フェーズ7」としている。フェーズ7への移行基準、フェーズ7における「即応病床（計画）数」は下記の通り。

フェーズ7への移行基準	フェーズ7における即応病床（計画）数	うち臨時の医療施設等	うち重症者向け	うち臨時の医療施設等
引上げ時：引上げ後の50%が見込まれる場合				
引下げ時：現フェーズの50%を目安に縮小	700	0	60	0

※2 病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急な患者対応方針に基づく計画を指す。

※3 「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

※4 東京都の重症者向け病床数はオミクロン株の特性を踏まえた東京都基準（特定集中治療室管理又は救命救急入院料を算定する病床及び人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床又はハイフローセラピーを実施する患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,047床となる（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国計で4,452床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国計で4,629床となる）。

※5 大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したものであり、